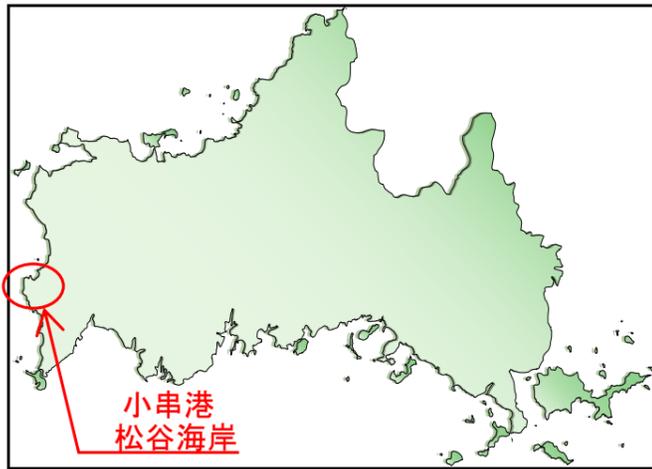


再評価項目調書

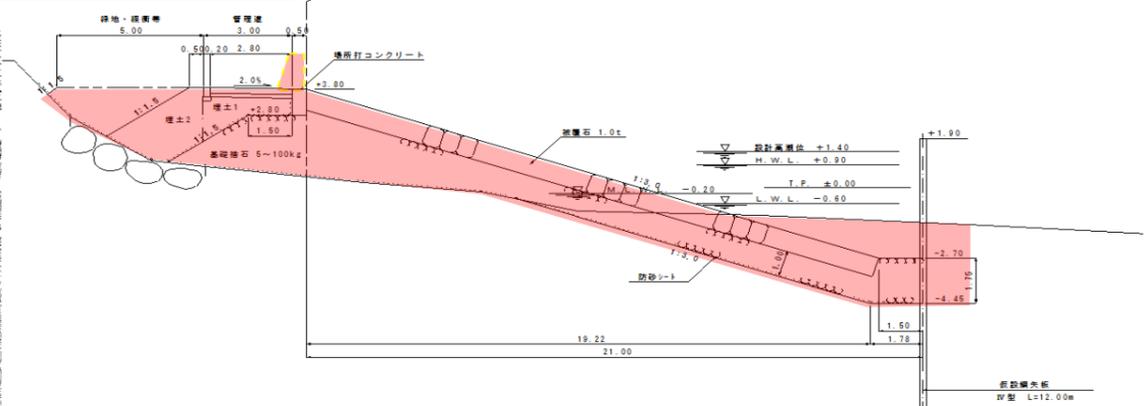
再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ○ 再評価後 () 年 ● その他 (変化)					
1 事業概要	事業名	小串港 松谷地区 海岸侵食対策事業					
	事業場所	下関市豊浦町大字川棚					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 31 年時 》 平成 13 年度 ~ 令和 9 年度 《 令和 10 年度 》 (西暦 2001 年度 ~ 西暦 2027 年度 《 西暦 2028 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	《 3,670 百万円 》 2,460 百万円 (百万円)	既投資額 (内用地補償費)	2,450 百万円 (百万円)	進捗率 (用地補償費)	99 % (%)	
	事業目的	<p>小串港は、山口県西部の下関市豊浦町の松谷地区に位置し、その背後地では住宅地や工業地としての土地利用が行われている。</p> <p>当地区の海岸は、西向きに開け、波浪や台風等の影響を受けやすいことから、侵食による汀線後退や越波による浸水被害が発生している。</p> <p>このため、水域(小串港)は当事業(港湾局所管)で潜堤や突堤を、陸域(松谷海岸)は他事業(水管理・国土保全局所管)で緩傾斜護岸等をそれぞれ連携して整備することにより、侵食及び浸水被害の軽減を図り、背後地の人命・財産を防護する。</p>					
	事業内容	<p>[今回] 潜堤 600m 突堤 3基</p> <p>[前回評価時] 潜堤 800m 突堤 3基 養浜 79,000m³</p>					
事業効果	<p>侵食対策における侵食被害防止効果 被害戸数 9 戸 → 0 戸</p> <p>高潮対策における浸水被害防止効果 浸水戸数 138 戸 → 0 戸 浸水面積 45.5 ha → 0 ha</p>						
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>侵食及び浸水想定区域内の人口及び世帯数は、前回評価時から同水準であり、背後地の土地利用に大きな変化はないことから、事業の必要性は依然として高い。</p> <p>【侵食及び浸水想定区域内の指標の変化(国勢調査)】 (下関市豊浦町大字川棚) ○人口 : 0.96倍 (6,382/6,664人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.01倍 (2,673/2,647世帯) <R2/H27> (参考: 県全体) ○人口 : 0.96倍 (1,343/1,405千人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.00倍 (597/599千世帯) <R2/H27></p>			中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	<p>当地区は、下関市の「地域防災計画」の中で改修工事の促進を図る箇所として位置付けられており、下関市から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は概ね事業に協力的であり、事業の進捗にあたっては協力体制が整っている。</p>			中項目評価	大項目評価

区分	主な項目	前回 (基準年：H31)	今回(再々評価) (基準年：R4)		備考																																													
		全体事業	全体事業	残事業																																														
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">便益(B)</td> <td>○浸水防護便益</td> <td>10,341</td> <td>17,857</td> <td>17,857</td> </tr> <tr> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td>3,654</td> <td>6,310</td> <td>6,310</td> </tr> <tr> <td>②公共土木施設被害軽減便益</td> <td>6,577</td> <td>11,358</td> <td>11,358</td> </tr> <tr> <td>③公共事業等被害軽減便益</td> <td>110</td> <td>189</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>○侵食防止便益</td> <td>343</td> <td>301</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td>343</td> <td>301</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>10,684</td> <td>18,158</td> <td>18,158</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用(C)</td> <td>①事業費</td> <td>5,120</td> <td>4,288</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>259</td> <td>203</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>5,379</td> <td>4,491</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>86.1</td> <td></td> </tr> </table>	便益(B)	○浸水防護便益		10,341	17,857	17,857	①一般資産被害軽減便益	3,654	6,310	6,310	②公共土木施設被害軽減便益	6,577	11,358	11,358	③公共事業等被害軽減便益	110	189	189	○侵食防止便益	343	301	301	①一般資産被害軽減便益	343	301	301	総便益	10,684	18,158	18,158	費用(C)	①事業費	5,120	4,288	8	②維持管理費	259	203	203	総費用	5,379	4,491	211	費用便益比(B/C)		2.0	4.0	86.1
便益(B)	○浸水防護便益	10,341		17,857	17,857																																													
	①一般資産被害軽減便益	3,654		6,310	6,310																																													
	②公共土木施設被害軽減便益	6,577		11,358	11,358																																													
	③公共事業等被害軽減便益	110		189	189																																													
	○侵食防止便益	343		301	301																																													
	①一般資産被害軽減便益	343		301	301																																													
	総便益	10,684	18,158	18,158																																														
費用(C)	①事業費	5,120	4,288	8																																														
	②維持管理費	259	203	203																																														
	総費用	5,379	4,491	211																																														
費用便益比(B/C)		2.0	4.0	86.1																																														
2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等																																																
	(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>令和4年度までに、潜堤600mと突堤3基の先行整備を行っている。これらの整備により、汀線の前進など、侵食対策の効果が確認されたため、先行整備をもって工事完了とするとともに、引き続きモニタリングを行い、施設整備の影響等を検証する。</p> <p>【事業費の変化】 ○ 有 無</p> <p>事業費の減は、侵食対策の効果が確認されたことに伴い、潜堤及び突堤の先行整備をもって工事完了としたことによる。</p> <p>【事業期間の変化】 ○ 有 無</p> <p>事業内容の見直しと他事業との進捗を調整したことによる。</p>			<p>大項目評価</p> <p>○ A ● B ○ C</p>																																												
4 対応方針	(4) コスト削減の可能性	コスト削減	<p>潜堤等の施工数量低減によるコスト削減を図った。</p>			<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>大項目評価</td> </tr> <tr> <td>○ a</td> <td>○ A</td> </tr> <tr> <td>○ b</td> <td>● B</td> </tr> <tr> <td>○ c</td> <td>○ C</td> </tr> </table>	中項目評価	大項目評価	○ a	○ A	○ b	● B	○ c	○ C																																				
	中項目評価	大項目評価																																																
○ a	○ A																																																	
○ b	● B																																																	
○ c	○ C																																																	
3 環境	配慮事項	汚濁防止対策として、海上工事に際しては、汚濁防止膜を設置する。																																																
	総合評価	○ 継続 ● 見直し継続 ○ 中止																																																
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、見直し継続が妥当と判断する。																																																
4 対応方針	(事業実施主体)	備考																																																

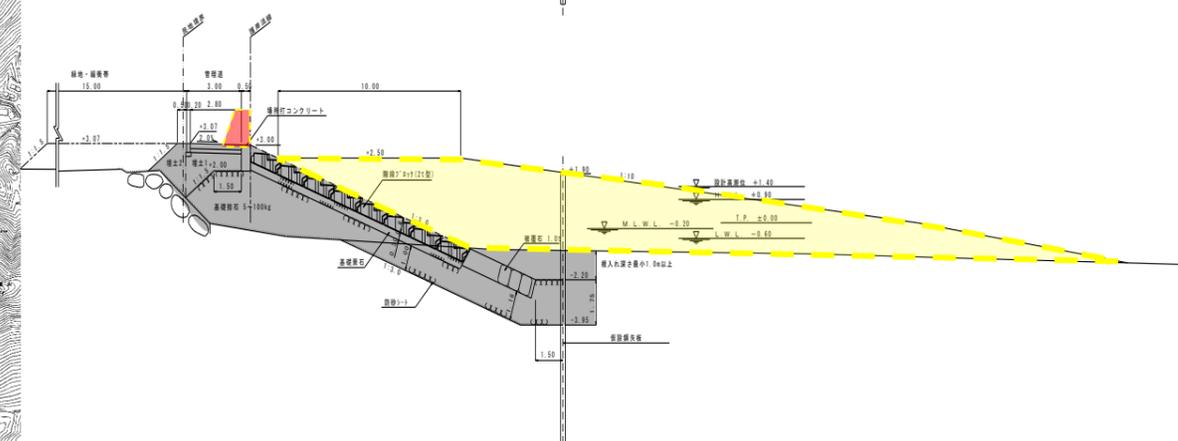


小串港 松谷地区 海岸侵食対策事業(港湾局所管)
 松谷海岸 海岸侵食対策事業(水管理・国土保全局所管)

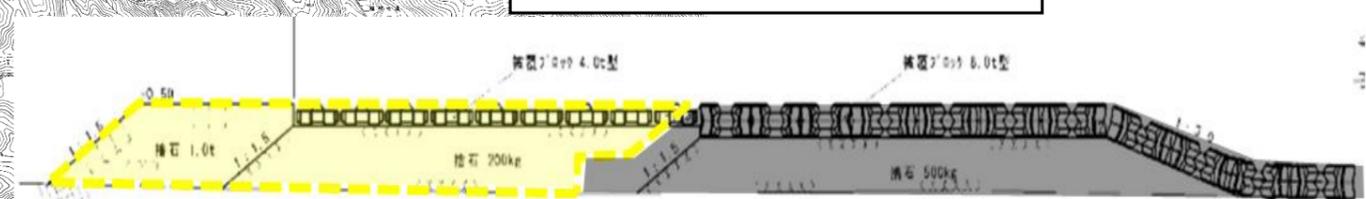
A-A 断面(緩傾斜護岸)



B-B 断面(緩傾斜護岸、養浜)



C-C 断面(潜堤)



凡	例
	令和4年度迄施工済
	令和5年度以降残事業
	見直し箇所
	侵食想定区域
	浸水想定区域
	海岸保全区域

(※) 出典:「地理院地図(電子国土Web)、ベースマップ標準地図(国土地理院)(<http://maps.gsi.go.jp>)を加工して作成